



まは
まじつ
かか
る
☆

18
FOR ADULT



まは
じつ
かひ
るい





そうだよ
今日からキミは
パチユリー・ノーレッジだよ

これが…
俺…？

あーそれでな…
代わりといつちやなんだが
少しやつてもらいてー事があるんだがな

えっ？







なにこれ…
頭ポーンとして…



すごく身体が
熱い…

こんな事しちゃ
いけないの…



ん…っ
はあ…あ…



んっっ



ごめんね
ビックリした？

これは女の子に
なる為の
儀式なの

言葉で説明しても
中々分かってくれない
子が多くて「こっぴつ
手段をとる事になってて…



んっ

ふふっ
パチユリーくんの
おちんぽ貰っちゃった

ぬ
か
か



おい、説明はいいから
サッサとやっちゃいな
へたに正気に
戻られるとやっかいだ

はい



それじゃ
頂きますね

ちゅっ



あっ...!
この子のおちんぽ

すごく
凶悪なのっ...!!

あゝ

あゝ

ダメ...ッ!
腰浮いちやうっ!!

あゝ

ぢゅが



何も遠慮もなしで
私のナカを
かき回してく...っ!

ん



はあああ...
これはすごくいかも...

ぢゅが

はあ

はあ

ぢゅが

ビクッ

ん
ん
ん
ん

ビュル

ビュッ

ああ♡

何も断りもなしに
腸内射精するなんて…

はー、

はー、

この娘
規格外だよ…

とろお



後日…



うっ…
射精る…ッ

全部パンツのナカに
受け止める…ッ!



この格好をするように
なつてから頻繁に
えっちするようになりました

私自身よくわからない
うちにこんな行為を
するうちに…

時にはおじさん
時にはこの間の
小悪魔さん…

なんだー
やってくれたら
今度魔理沙に
会わせてやろうと
思ってたのに



あー気持ちよかった…
じゃー次はここでシヨンベン
してみせてよ

しょ…って
そんな事
出来ません!



魔理沙…?

「魔理沙に逢える。」
「そんな甘っちょろい甘言に
乗せられて…」

「魔理沙に…
逢える……」

「ボロリン」

「じゃあ…
「」で…
します……。」

「すずすず」

「ん……」

「ピロリン」



これ…
案外気持ちいい…
かも…

はっ

はっ



わわっ
こんな所でおしりしてる…

ああ
ずる、ごじびてる…



おい

びんびん

えっ？



あああん

ギョッ



もう我慢
できねえ！

がば



わー！
おじいさんが！

わっ！
ちょっと！



カクッ

すまんすまん
ションベンする姿
見てたら
堪らなくなつてな

もう！
おじいしてるのに
触らないでよ！





本当に……
しなきゃダメ……？

……
女の子じゃないけど……

頼むよ、可愛い
女の子に犯されてみたい
って思ってたんだよ

はやく
はやく

フリ

フリ



仕方ないなあ……

やっぱりどこかおかしくて
言う事聞いちゃいました。



ズン

!!!

ぬわう



あう...もう
射精そう...

え...?

はー

はー



でも挿入れて
みると意外と良くて

はじゅぽ...
臭いよお...

お

お



悪い悪い...
我慢出来なくて...

き...

はー

はー



きゅっ

ピュルッ

ピュ
ピュ

数日後
魔理沙に逢える
日がやってきた



アリス可愛いぜ
もっと激しくしても
大丈夫か…？

いい…よ…？
魔理沙のしたいように
して大丈夫だから…



なにこれ…
アリスって誰？

魔理沙は
私の事が好きじゃ
なかったの…？



許せない…
魔理沙は私の
ものなのに…

あんな女
絶対認めない

魔理沙…
すごい射精てるね…

はーっ
はーっ



わっ
お尻から溢れ
ちゃった…

どかん



はあ
はあ
しゅっ
しゅっ



悔しいのに…
悲しいのに…

2人の行為を見て
今までになくくらい
興奮してる自分が
一番嫌い！

魔理沙…

う…っ
く…っ

ぽろ
ぽろ

ぐう

ぐに
ぐに
ぐに



別に…
これくらいなんとも…
ないです……



ねじん

よしよし
強がらなくてもいいよ
おちさんが慰めてあげよう



じゅが

じゅが

んっんっ



あれあれ
今日は魔理沙ちゃん
フリーのはずだった
んだけどなあ

タイミング
悪かったね
酷なもの見ちゃったかな？

え、

その日はいつもより
激しくおじさんと
交わりました



夜になっても
朝になっても
終わりませんでした…

ぬぢゃ
ぬぢゃ
ぬぢゃ

ぬぢゃ

んっん

んっん
ぢゅる
ぢゅる

ぢゅは



それから私の
性の衝動は
暴走していきました

恥ずかしいよ…
早くどこか
隠れよう…??

どうかな
外で素っ裸に
なってみた気分は…??



しょうがないなあ…

んっ?

ちやう



そんなのすぐ
慣れるわよ

今を楽ししま
なきや損よ?

……………
そう言われても…

んっ?







あとおねえちゃん
そんなにしたらっ!



この匂い…
もう離れられない
かも……



もう…
射精す時は
言いなさいよ…



なんかきちゃうっ!
ごめんなさい!



挿入ったよ…
おねえちゃん

うん…



すごい…
挿入ってるよ…

ゆっくりね…
ゆっくりだからね





ちよつと？
まだ私が居る
んだからね？

まだまだ相手
してもわなきや



すごい
もとも

その後も3人で何度も
挿入れたり射精したりで
気がつけば皆眠っちゃってた

また射精する
みたいですよ

アッ
アッ
い

こんな楽しくて
気持ちいい事を
知っちゃったら...

もう...
お尻...
なの...
い...

また射精して
るよ...♡

ぬが
ぬが

このまま
性欲に身を任せて
みるのもいいかな...って

ああ

あとがき

どうも申し訳ございませんでした！（突然の謝罪

はじめまして、またはこんにちは長月莉緒です。
いきなり謝罪の言葉から入りました、はいそれはもう読んで貰えれば分かりますよね。
全体的に”雑”、話の繋がりがおかしい、等々…
今回完全に時間配分を間違えました…あと艦これをやりすぎてた…（ダメダメ

さて本の内容に少し触れますと
今回は去年の冬の本の前日譚みたいなものと取ってもらって大丈夫です。
あのパチュリーくんがどういう経緯でアリスくんと絡んでいくようになったか
というのを描きたかったのです…。実力不足でやや未消化のままですが…
あ、あの小悪魔はもちろん本物じゃありませんよ、なぜチャーム（魅了）が使えたのかは
ごによごによ…そのうち流れで説明出来たらいいですね！
さてさて今回は細かいシュチュをたくさん描いてみてはどうか？という実験も兼ねていたので
その辺でも説明不足になってしまった感が否めませんね…申し訳なす…(´・ω`;)…

とりあえず（？）これで三魔女の男の娘本の話は本当に完結です。
次回以降はまったく別のキャラやストーリーになるんじゃないかと思えます。

では今回はこの辺で、ご要望等ありましたらいつでもご連絡お待ちしておりますので!!
ここまで読んで頂きありがとうございました。
またお会い出来る日を楽しみにしております。
拙い本ですが少しでも気に入って貰えれば幸いです。

長月莉緒

奥付

発行：秋の夜長に宵闇に / 長月莉緒

発効日：2013/12/30 コミックマーケット 85

HP：<http://ngtkro.blog59.fc2.com/?plugin&index>

Mail：bnr340926@hotmail.co.jp

印刷：マツモトコミックサービス様

本書は上海アリス幻楽団様作品”東方 Project”を題材とした二次創作です。

はっぴいまじかる☆

東方 ProjectFanbook

秋の夜長に宵闇に

For Adult Only

2013/12/30 Comic Market85

